



協会報

2019

発行日 毎月1日 通算発行 404号

12



石川県土木部だより 除雪体制の維持に向けた取組について

石川県土木部道路整備課

令和元年度「優良建設功労者」・「優良建設工事」 知事表彰の紹介



石川の工芸シリーズ②

石川県七尾美術館蔵

ゆうれい きんさいい ぼ たんからくさもんつぼ
釉裏金彩牡丹唐草文壺

よしと みのり
吉田 美統【昭和7(1932)年 - 】重要無形文化財保持者(釉裏金彩)

制作年 / 平成19(2007)年 サイズ / 径31.0×高さ27.5cm 技法 / 釉裏金彩
吉田美統は小松市の九谷焼窯元・錦山窯(きんざんがま)に生まれ、同窯の職人から技法を学び、窯の三代目となる。金箔や金泥で文様を表して焼き付け、上から釉薬を掛けて焼成する「釉裏金彩」の技法を探究し、淡緑や黄・紫などの色釉を下地に、金箔によって草花文を表す格調高い独自世界を確立した。本作品にも同技法が駆使され、透きとおるような緑釉下に金箔による唐草文様が優美に連続し、金と緑の端正なハーモニーを奏でている。

“未来”を創り “ふる里”を守る 建設産業

発行所 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL(076)242-116(代) FAX(076)241-9258

URL:<http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS

2019

12



石川の工芸シリーズ②
釉裏金彩牡丹唐草文壺
吉田 美統(よした みゆり)

1	石川県土木部だより 除雪体制の維持に向けた取組について 石川県土木部道路整備課	2
2	令和元年度「優良建設功労者」「優良建設工事」知事表彰の紹介	4
3	平成30年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.11 西村建設株式会社	6
4	雇用改善コーナー 金沢市立工業高校生との意見交換会の開催 高校生のインターンシップ感想文(石川県立羽咋工業高等学校)	8
5	県内建設企業の財務内容の特徴 ～『建設業の財務統計指標 平成30年度決算分析』より～ 東日本建設業保証(株) 石川支店	12
6	地区協会コーナー 協会創立50周年記念式典・祝賀会の開催 (一社)金沢建設業協会	13
7	会員リレーコーナー 192 株式会社堀田建設	14
8	今月の「輝き！」さん No.57 橋建設株式会社 網 美雨菜さん	15
9	協会だより 委員会の開催 土木委員会 工事現地検討会の実施 金沢河川国道事務所と懇話会との意見交換会の開催 「石川県土木部との意見交換会」の開催 建築委員会 北陸地方整備局営繕部との建築工事懇談会の開催 土地改良委員会 「県農林水産部との意見交換会」の開催 家畜伝染病防疫訓練への参加 現場研修会の開催 農政局及び県農林水産部等への施策提案 広報・研修委員会 企画部会の開催 建設青年委員会 講演会の開催 雇用対策特別委員会 令和元年度「富士教育訓練センター派遣事業」打合せ会議の開催	16
10	石川県土木施工管理技士会だより 第2回役員会の開催	21
11	業界時報 労働災害発生状況 令和元年度 建設工事受注高調(元請)	22
12	会員消息	23
13	県協会からのお知らせ	23
14	地区協会からのお知らせ	24

石川県土木部だより

除雪体制の維持に向けた取組について

石川県土木部道路整備課

1 はじめに

石川県は本州日本海側のほぼ中央に位置し、南北に細長く、北に向かって能登半島が日本海に突出している地形が特徴であり、四季は変化に富み、特に冬は美しい雪の情景が演出されます。

しかし、平成30年の大雪の際にも経験したように、一旦平地で大雪となれば、幹線道路から生活道路に至るまで交通機能が麻痺するなど、雪が我々の日常生活を脅かす存在となってしまいます。

本県では、これまでも過去の大雪の事例を踏まえ、強い除雪体制を構築し、冬期間における、物資の輸送及び通勤通学等の県民生活に支障をきたさないよう、円滑な冬期交通の確保に努めてきたところですが、近年の少子高齢化をはじめとした様々な要因によって、除雪業務の担い手の確保が懸念されています。

本稿では、将来の除雪体制維持、特に担い手の確保に向けた本県の取組について紹介します。

2 除雪機械操作技能研修会（オペレータ研修）

熟練オペレータの高齢化による退職者の増加によって、除雪技術が低下することが課題となっているほか、近年の暖冬傾向による運転時間の減少に伴い、若手オペレータの習熟機会が減少していることから、除雪技術の向上や伝承を目的とした研修会を毎年開催しています。

研修では、除雪経験の浅いオペレータを対象に、実機を用いた運転前の点検方法や機械の調整の説明、実際の雪氷路面で新雪除雪、路面整正、拡幅除雪など除雪作業における特殊な運転操作について実技指導を行っており、これまでに約740人が受講しています。

最初に、運転前の点検方法や機械の調整、注意事項などについて、機械メーカーの担当者から説明を受けます。

実技講習では、三角コーン等を家屋や交差点に見立てた模擬コースにて、同乗する熟練オペレータが受講者に直接指導を行います。

一例として、交差点付近の隅切り部の除雪方法については、切削角によって運転操作や除雪した路面がどのように違うのか、また、状況に応じてどのような運転操作が必要かなど、助手席に同乗した熟練オペレータから直接指導が行われます。



写真1 機械・部品に関する説明



写真2 実技講習の様子

3 道路除雪オペレータ表彰

他の模範となる除雪オペレータの功績を讃えるとともに、県民への除雪業務のPRを目的として、平成24年度より、「道路除雪オペレータ表彰」を実施しており、毎年、土木部長から表彰を行っています。

表彰には永年従事（20年以上）を主体に評価する「功労賞」と、技術力を主体に評価する「技能賞」があり、これまでに、功労賞54名、技能賞67名の計121名が受賞されています。



写真3 道路除雪オペレータ表彰式

4 こども除雪車ふれあい教室

将来の除雪体制維持が課題となる一方で、除雪に対する住民のニーズは年々増加し、除雪サービスは高い水準を求められています。

円滑な除雪を実施していくためには、県民の理解と協力が必要不可欠であり、将来の担い手となる子供たちに除雪に対する理解を高めてもらうことが大切と考えています。

そのため、除雪業務のPR活動のひとつとして、次世代を担う小学校の児童に冬期の円滑な交通確保の重要性を学んでもらう、「こども除雪車ふれあい教室」を平成21年度から開催しています。

参加した児童や先生方からは高い評価をいただいております。特に、児童からは、普段は触れることのない除雪機械への体験乗車がとても好評であり、この取組が県民の除雪業務への理解を高めることに寄与していると考えています。



写真4 除雪業務の説明状況



写真5 除雪機械への乗車体験

5 おわりに

除雪業務は冬期における社会活動、経済活動を支えており、常に良好な冬期道路交通の確保が求められることから、将来にわたり安定的な除雪体制を維持できるよう、建設業全体における人手不足など、社会情勢等の変化を適切に把握し、時代に即した運用を行うことが重要と考えています。

今後とも、除雪体制の維持に向けた新たな取組を行いながら、安全で安心な冬期交通の確保に努めていきたいと考えておりますので、皆様のご協力をお願いします。

令和元年度「優良建設功労者」・「優良建設工事」知事表彰の紹介

令和元年度国土と交通等に関する知事表彰が、11月15日(金)午後2時から石川県庁において行われ、建設関係者から多くの個人・団体・企業が表彰されました。(一社)石川県建設業協会関係の優良建設功労者及び優良建設工事をここにご紹介し、その功労に敬意を表します。

【優良建設功労者】



按察正敏 氏
株式会社加賀土石建設
取締役会長



荒木 進 氏
荒木建設株式会社
取締役会長



表井源一 氏
株式会社表井建設
代表取締役社長

【優良建設工事】

【土木部発注分(会社名及び工事名)】

- 1 北川建設株式会社
29災172号 主要地方道金沢湯涌福光線 道路災害復旧工事(軽量盛土工)
- 2 北都・宮下・西中特定建設工事共同企業体
主要地方道能都内浦線 地方道改築(防災・安全)工事((仮)真脇トンネル)
- 3 明翫・酒井特定建設工事共同企業体
金沢港 港湾環境整備(機能強化)工事(護岸1工区)
- 4 寺井建設株式会社
主要地方道 金沢田鶴浜線 地方道改築工事(改良1工区)
- 5 北都・高藤特定建設工事共同企業体
主要地方道 金沢美川小松線 地方道改築4類工事(手取川橋梁P4橋脚工)
- 6 大日土建株式会社
瀬木野 通常砂防工事

- 7 北陸地建株式会社
都市計画道路 金石街道線（本町） 街路整備（防災・安全）工事
- 8 株式会社のとさく
二級河川若山川 広域河川改修工事（河道掘削4工区）
- 9 豊蔵・橋・岡特定建設工事共同企業体
県央土木総合事務所等移転整備工事（庁舎棟・建築）
- 10 三友工業株式会社
一般県道宮永横川町線 舗装補修工事

【農林水産部発注分（会社及び工事名）】

- 1 株式会社江口組
平成29年度 平成29年発生林地荒廃防止施設災害復旧事業 安宅地区 海岸工事その2
- 2 株式会社慶伊組
平成29年度 奥地保安林保全緊急対策事業 ヒサシ大谷地区 溪間工事
- 3 姥浦建設株式会社
平成29年度 県営ほ場整備事業（面的集積型） 高階第2地区 区画整理工事
- 4 株式会社堀田建設
平成29年度 県営ほ場整備事業（面的集積型） 中沼・夏栗地区 中沼工区 区画整理工事
- 5 宮下建設株式会社
平成29年度 広域営農団地農道整備事業 能登外浦4期地区 千代工区 P5橋脚工事



平成30年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.11

施工企業名：西村建設株式会社

工事名 主要地方道 金沢田鶴浜線 地方道改築工事
(改良工)

工事分野 道路改良工事

施工場所 羽咋郡志賀町上棚 地内

工事概要

施工延長 L=170m
土工 V=12,700m³
排水工 L=331m

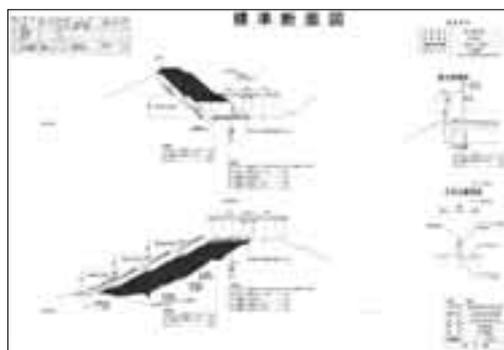
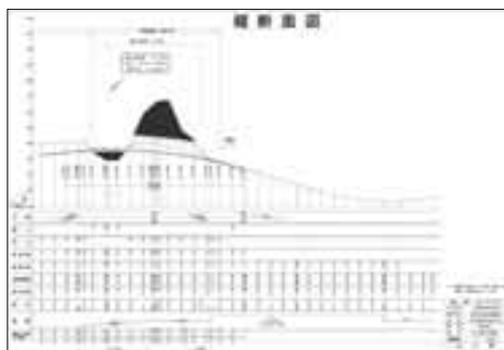
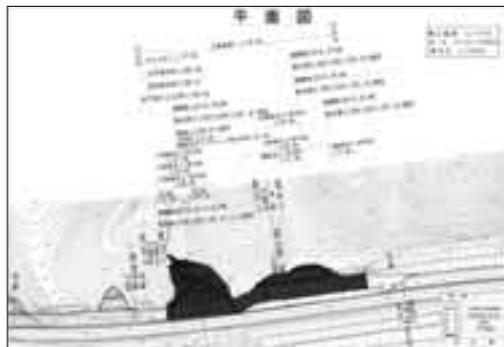
工期 平成29年5月1日～平成29年9月29日

推薦理由

当該工事のはと里山海道4車線化事業の改良工事であり、県発注工事としては能登地域で初めてとなるICT建設機械による施工を実施した。

山間部でのICT施工であることから、谷部で通信衛星からの電波が途切れたり、また、交通量が多く高速走行する現道に近接した狭小な作業現場であったが、適切な工程管理や安全管理に努め、工期内に事故もなく良好な出来栄で工事を完了させた。

更に地域貢献として地元小学校を対象にした出前講座に参加し、従来施工とICT施工の違いを説明し、建設現場の安全性・効率性の向上を紹介することで建設業の魅力向上のPRにも努めた。



完成写真



ICT 施工に係わる各関係者との協議



3次元起工測量



3次元設計データ作成



ローカライゼーション



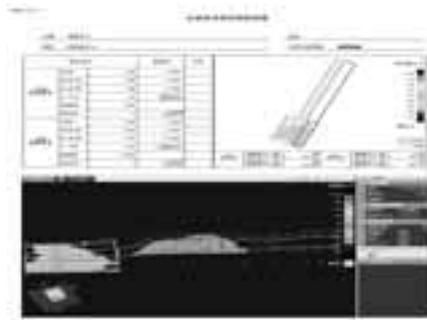
ICT 建設機械による施工



ICT 建設機械による施工



3次元出来形管理等の施工管理
(GNSSによる締固め回数管理技術)



3次元出来形管理等の施工管理
(空中写真測量による出来形管理技術)
3次元データの納品



地元小学校を対象にした出前講座に参加

現場代理人のコメント



現場代理人
濱田孝正氏

この度、栄えある知事表彰を賜り、心より御礼を申し上げます。これもひとえに発注者の皆様を初め、工事に御協力頂いた関係各位の皆様のお陰だと心から厚く感謝と御礼を申し上げます。

当該工事は、のと里山海道4車線化事業の改良工事であり、ICT活用工事で行いました。(3次元起工測量、3次元設計データ作成、ICT建設機械による施工、3次元出来形管理等の施工管理、3次元データの納品)

現場は、山間部の狭小で高低差もあり、施工条件に適したICT建設機械の選定と導入時期を特に留意し、計画・実行しました。

初めてのICT活用工事で、事前準備や作業手順に多少戸惑いはありましたが、ICT施工各関係者のサポート体制が充実しており大変に助かりました。

現場作業においてもICT建設機械での施工では、丁張りが不要になる為、その分手間が無く、早く施工が開始出来ました。又、オペレータが建設機械を降りて位置確認や手元作業員も不要となり、作業も止めることなく安全性が向上しました。

更に、地元小学校を対象にした出前講座にて、ICT施工について紹介をさせて頂きました。少しでも建設業に対するの興味、魅力を抱いて頂いていると思います。

最後になりますが、工期内に事故やトラブルもなく安全に工事を完成することが出来ました。この賞を糧として誇りと自信を持ち、今後も初心に戻り、社会貢献を念頭に、施工管理技術の基礎を見つめ直し、新技術を積極的に取入れ更なる飛躍を求め、努力・精進致したいと思います。

雇用改善コーナー

金沢市立工業高校生との意見交換会の開催

(一社)金沢建設業協会 青年委員会(委員長 梅谷基樹)は、11月15日(金)、金沢市立工業高等学校建築科の生徒との意見交換会を開催した。

会には同校建築科の2年生40名と、青年委員会情報発信セクションのメンバー12名が出席した。

冒頭、梅谷青年委員長より、「本日は、建設業の仕事や就職に関する皆さんの不安や疑問を遠慮なく質問していただき、我々もしっかりと答えたい。ぜひ、地元の建設業に就業していただきたい。」と挨拶した。

続いて、同校の卒業生で橋建設株式会社の網 美雨菜さんが、「仕事について」と題し、建設現場における現場監督の仕事内容、竣工時の達成感、男性も女性も活躍できることなど、現場監督の仕事の魅力を語った。

その後、生徒は5つのグループに分かれ、情報発信セクションのメンバーとグループごとに意見交換を行った。生徒からは、仕事の内容、休日、建設業のイメージなど多くの質問が出され、同セクションのメンバーが丁寧に回答した。

最後に、各班代表の生徒が今日の感想を発表し、閉会となった。



高校生のインターンシップ感想文(石川県立羽咋工業高等学校)

『建設業の取り組みについて学ぶことができました。』

建設造形科土木コース 2年 山岸大智
(受入企業 株式会社山崎建設)

私はインターンシップを通して今の建設業が力を入れていることや仕事の内容、必要性について学びました。まず感じたことは、若者や女性に優しい職場づくりに力を入れていることです。ICT 建機や自動で測量できるトータルステーション、ドローンなどを導入し、経験の浅い若者や女性にも作業ができるようにするなどの取り組みがあるとわかりました。また、仕事の内容は幅広く、すべての工事が生活を支えているとわかりました。このことから土木工事は人々の生活を支えていて、工事の方法は日々進化していることがわかりました。

『仕事内容とコミュニケーションの大切さを学びました。』

建設造形科土木コース 2年 山田大輔
(受入企業 勝二建設株式会社)

私がインターンシップを通して学んだことは、仕事内容とコミュニケーションの大切さです。実際の建

設現場を見学すると、重機を動かして材料を移動させたり溶接を行ったりしていました。また、作業工程や予定の確認をしたり、複数の建設会社で話し合いをしたりしながら、黙々と作業を進めていました。失敗をしないためにも常にコミュニケーションをとることが大切だと感じました。作業体験では、測量で最新の器械を操作しました。自分が将来どんな職種に就いてもコミュニケーション能力は必要になると思うので、学校生活でしっかり身につけたいです。

『インターネットの重要性を知ることができました。』

建設造形科土木コース 2年 南 美里
(受入企業 株式会社麴香重機建設)

インターンシップをさせていただき、パソコンやインターネットの重要さと現場以外での仕事を知ることができました。これからの建設業はパソコンが必須なので使えるようにしたいです。実際に現場を見学することができ、工事現場の大変さや楽しさが分かり良かったです。会社の方とのコミュニケーションも大切だと思いました。

まだ就職先は決まっていますが、建設会社に入りたいと思っています。とても楽しく充実した時間を過ごさせていただきました。

『挨拶と笑顔の大切さを学びました。』

建設造形科土木コース 2年 森下真暖
(受入企業 寺井建設株式会社)

今回のインターンシップを通して職業について沢山のことを知ることができました。特に、今後いろんな機会で活用できると思ったことが2つあります。

1つ目は挨拶です。何をやるにも最初は挨拶が大切です。初対面の方に挨拶をすることで相手の方の心を開けることに気づかされました。学校生活でも挨拶を大切にしていきたいと思いました。

2つ目は笑顔です。見学をする際に笑顔で対応してくださり、気持ちよくインターンシップを終えることができたからです。笑顔は打ち解けるための魔法だと思っているので改めてそのすごさに感動しました。学校生活や就職先でもこの2つを活かしていきたいです。

『土木の仕事を知ることができました。』

建設造形科土木コース 2年 山田胡心捺
(受入企業 壁屋建設株式会社)

私は、インターンシップをするまで土木にどのような仕事があるのかよくわかっていませんでした。土木の仕事はほとんどが測量だと思っていましたが、実際に現場を見学してみて、私たちが気づかないだけで土木の仕事は沢山あるということがわかりました。私たちが普段何気なく使っている道路や土砂崩れが起きたときに土砂を止める砂防ダムなど、土木は私たちの生活にはなくてはならない存在だということがわかりました。私も、将来人が安心して暮らせるようなものを造っていきたいです。

『建設業に携わりたいとの思いが強くなりました。』

建設造形科土木コース 2年 前田優希
(受入企業 小倉建設株式会社)

元々、私は建設業に携わる気持ちは全くありませんでした。しかし、インターンシップを通して建設業

に携わりたいと思うようになりました。

私が体験したことは、ドローンの操作、バックホーを使っての掘削体験、VR体験、現場見学など、さまざまな建設に関することでした。どれも、企業の方々が一生懸命働いていてカッコいいと思いました。また、自分が建設したものが一生残っていくことにやりがいや達成感を感じることができました。そのようなことから、将来は建設業に携わっていきたいと思いました。

『ものを造る厳しさと達成感を実感しました。』

建設造形科建築コース 2年 岩城槇冬
(受入企業 株式会社戸田組)

私は、インターンシップを通してたくさんのことを学びました。まずは、3日間で3か月分の現場を見て、造る厳しさと達成感を実感しました。造るのは、失敗することなくスピーディーにやらなくてはいけないので完成した時の達成感がすごいと思いました。最後は自分が造ったものがお客さんに喜んでもらうのが一番のやりがいだということがわかりました。なので、喜んでもらえるようなものを造りたいです。この2つのことを忘れずに自分の夢に近づけるように勉強していきたいと思いました。

『インターンシップで学んだことを将来に活かしたいです。』

建設造形科建築コース 2年 山本颯汰
(受入企業 南建設株式会社)

インターンシップを通して現場で2つの大切なことを学びました。1つ目は、現場では多くの職人さんたちが働いていて、その人たちとコミュニケーションをとることで作業がより円滑に進むことです。2つ目は、常に周りの安全確認を行うことです。安全確認を怠ると大きな事故につながり、最悪建てた構造物が使えなくなるかもしれないからです。私は、この2つのことを学んで現場での作業の難しさや周りへの意識の大切さを知りました。このことを将来に活かしていきたいと思います。

『工夫を凝らした建築工法に驚きました。』

建設造形科建築コース 2年 大谷央翔
(受入企業 株式会社表組)

インターンシップで沢山の貴重な体験をさせていただきました。一番印象に残っていることは、外日角小学校の改修工事現場を見学させていただいたことです。生徒がいる中で改修工事を行うために、仮設校舎を建てて出来上がった部分から生徒に使ってもらうという特殊なやり方を見たときは驚きました。このように様々な工夫が行われていると分かったので、将来自分が建築関係の仕事に就いた時は、頭を柔らかくして工夫を凝らして仕事をする事が出来れば良いと思いました。

『インターンシップで学んだことを将来に活かしたいです。』

建設造形科建築コース 2年 卜部優奈
(受入企業 株式会社杉本工務店)

インターンシップを通して学んだことは2つあります。1つ目は、人とのつながりの大切さです。挨拶や笑顔はもちろん、会話をたくさんすることで、より深くコミュニケーションをとることができると気づくことができました。2つ目は、相手のいいところを見つけるということです。いいところを見つけて褒めるとお互いに気持ちよく仕事をする事ができます。私は、このインターンシップで学んだことを活かし

て、人との関わりを大切にして将来に役立てたいと思いました。

『資格の取得に積極的に挑戦したいです。』

建設造形科建築コース 2年 山口華穂
(受入企業 免田産業株式会社)

今回のインターンシップを通して学んだことで今からでもできることが2つあります。

1つ目は、周りの人とのコミュニケーションをしっかりとることです。一番簡単にできることは挨拶です。挨拶から始まる会話で友達ができたり、元気に明るく挨拶をすることで良い印象を与えることができます。社会に出ると、沢山の人とコミュニケーションをとることで職場の雰囲気よくなったりより沢山の仕事を与えてもらったりできるかもしれません。だから、今から沢山の人とコミュニケーションをとっていききたいと思います。2つ目は、色んなことに挑戦することです。高校生のうちに取れる資格は積極的に取って就職先で活用できるようにしたいです。そして、就職したら、自分にはできないからとすぐに諦めずに何でも挑戦していききたいと思います。

『将来の姿を想像することができました。』

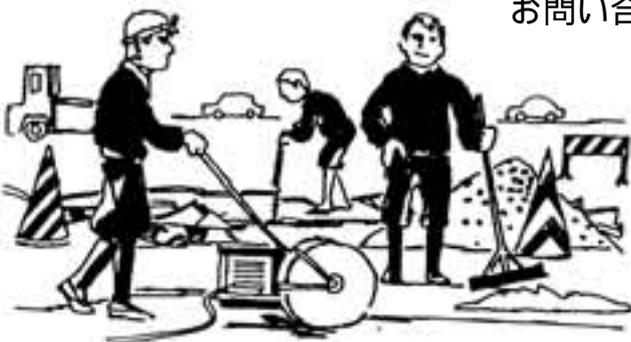
建設造形科建築コース 2年 澤田朋香
(受入企業 アオイ建設株式会社)

3日間を通して、働くことの大変さや楽しさを改めて感じる事ができました。自分自身憧れていた職業を実際に目の当たりにして、将来のなりたい姿をしっかり想像できたと思います。また、コミュニケーションや周りに感謝することも大切なんだと感じました。いろいろな工場や事務所の方とお話する機会があったのですが、そこで普段聞けないことを知ることができてよかったです。また、ひとつの建築物に携わるにあたって沢山の協力が必要なのがありました。これらのことを将来に活かしていこうと思います。

不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度
自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

TEL 076 - 231 - 7787

FAX 076 - 231 - 7766

〒920 - 0919 金沢市南町5 - 20
中屋三井ビル2F

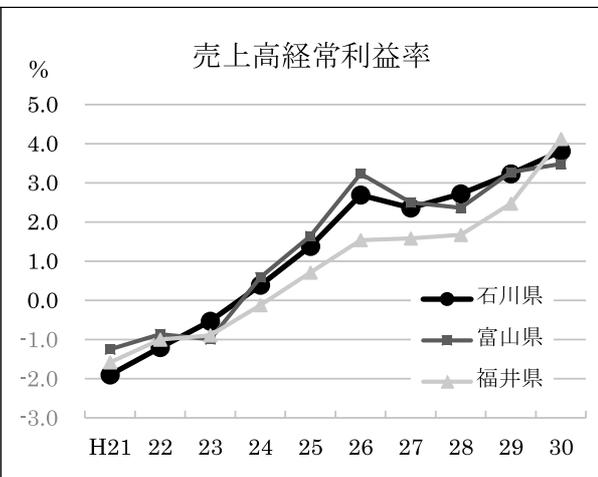
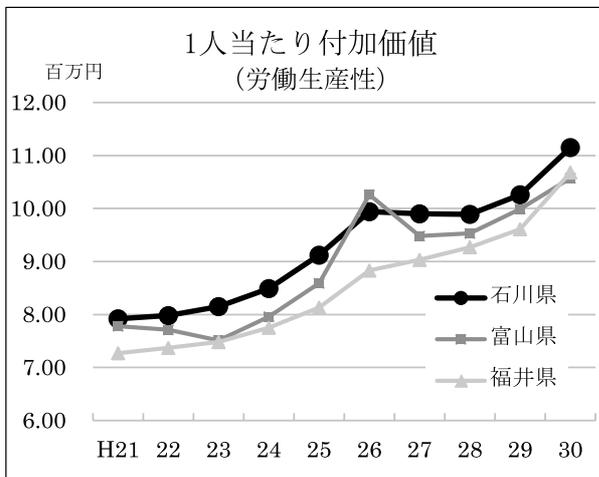
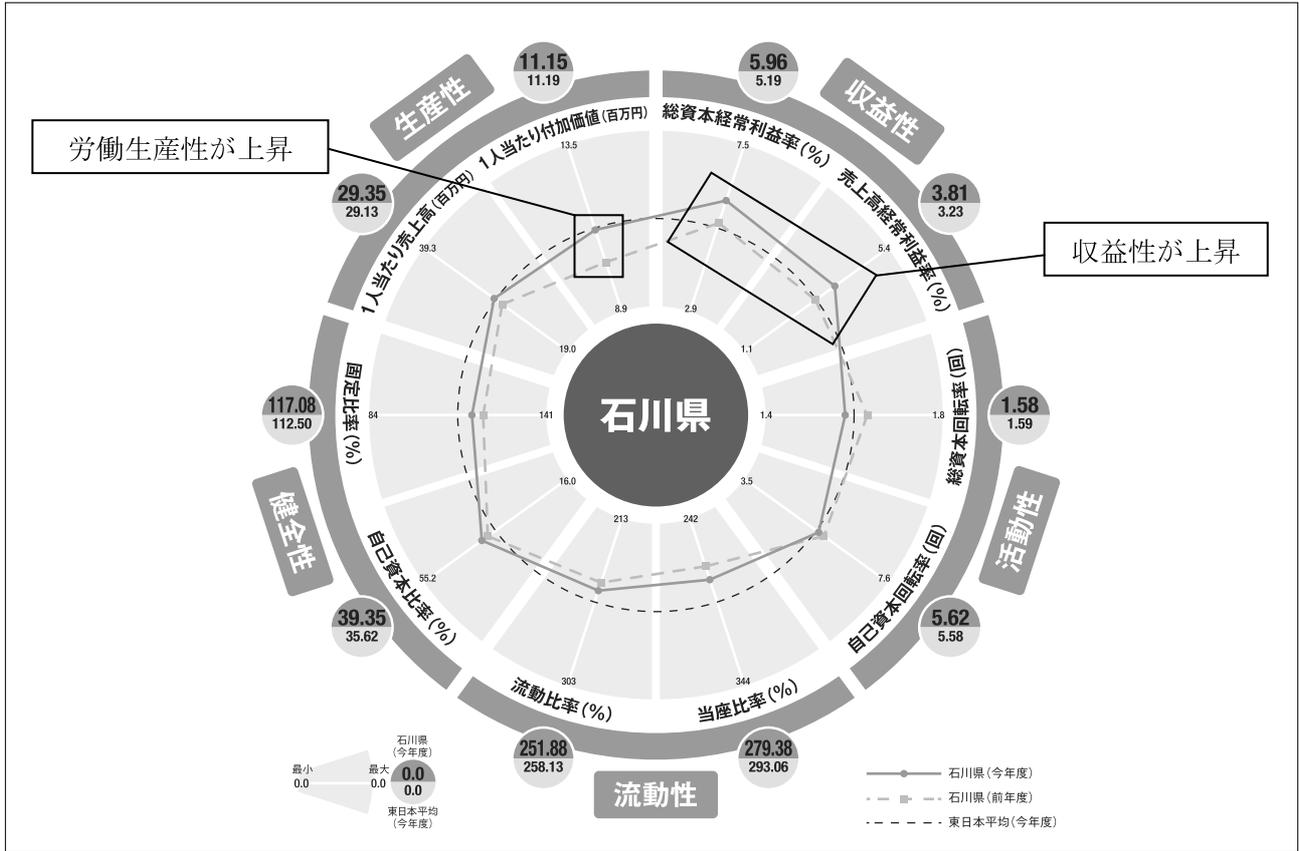
県内建設企業の財務内容の特徴

～ 『建設業の財務統計指標 平成30年度決算分析』 より～

東日本建設業保証(株) 石川支店

【平成30年度の特徴】

- ・企業の収益力を総合的に表す「総資本経常利益率」、「売上高経常利益率」が東日本平均を上回っています。
- ・企業が事業活動を通じてどの程度、新たな価値を生み出したかを表す「1人当たり付加価値(労働生産性)」は、前年度より0.89百万円上昇し、11.15百万円となっています。



出典：東日本建設業保証『建設業の財務統計指標』 <https://www.ejcs.co.jp/report/indicators.html>

注『建設業の財務統計指標』は、東日本建設業保証(株)へ提出された決算書により、売上高別、地区別・都県別に経営指標をまとめたものです。平成30年度の石川県内の集計企業数は679社です。

地区協会コーナー

協会創立50周年記念式典・祝賀会の開催

(一社)金沢建設業協会

発足から50年を迎えた金沢建設業協会の創立50周年記念式典・祝賀会が、10月3日、17時からホテル日航金沢・鶴の間に谷本石川県知事、山野金沢市長、馳衆議院議員、山田参議院議員、岡田参議院議員、福村県議会議長ほか県議会議員や市議会議員の皆様、国、県、市の関係機関の皆さま等100人のご来賓をお迎えし、協会役員、協会員など総勢221人により盛大に開催されました。

最初に三茶屋街の14人の芸妓衆による「祝三番叟」の披露と物故者への黙禱に続き、橋本会長が式辞を述べました。祝辞では、「金沢協会が創立した経緯や諸先輩が幾多の困難を乗り越え今日の協会の礎を築いて頂いたことへの感謝の言葉が述べられ、また、建設業界を取り巻く課題である人材の確保や育成に向けた働き方改革への対応が必要であり、働きやすい職場環境への改善が不可欠です。このため業界自らが果敢な行動と努力をすることは勿論ですが、関係機関の皆さま方には適切なお指導とお支援をお願い致します。

また、地震災害や大規模且つ多発化する風水害と土砂災害には、防災施設整備に加え、円滑で確実な災害支援対応力の向上が求められています。当協会では、各防災機関との災害支援協定や協会BCPに準拠し、関係機関の皆さまと連携した訓練を重ね協会員が一丸となって実践力の向上に努めるなど、諸課題を改善し業界の発展を期していきます。

最後に、私どもは、「給与が良い」「休暇が取れる」「希望が持てる」の新たな3K業界を確立すると共に、これからも新たに策定した協会のキャッチフレーズである「街を創る 歴史を創る 未来へ繋がる建設業」を目指して社会的な責任を果たし、地域に寄与して参る所存ですので、ご来賓の皆さま方、関係機関の皆さまに置かれましては、今後とも特段のご支援とお指導を切にお願い申し上げます。」との力強い決意で締めくくる挨拶がありました。

次に、山野市長から「協会が実施している市立工業高校生徒への学習への多大な支援に感謝する」などの祝辞を頂き、続いて谷本知事、馳衆議院議員、山田参議院議員、岡田参議院議員、小倉県協会会長から建設業界や協会活動への感謝や期待など心温まるご祝辞を頂きました。



会員リレーコーナー

192 株式会社堀田建設

(所在地：石川県かほく市高松△38-3)



社 章

本年も各地に地震や大雨・台風による自然災害が多く発生しており、被害に遭われた方々には心からお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、弊社は昭和37年6月に創業し、昭和45年3月に土木工事業会社として「株式会社堀田建設」をかほく市高松に設立いたしました。その後、解体工事業の許可を取得し、土木工事及び解体工事を主に石川県内で施工してまいりました。

さらに、産業廃棄物中間処理施設「IRCセンター」をかほく市長柄町に建設し、産業廃棄物中間処理業(木くずの焼却・破碎)を行っております。



産業廃棄物中間処理施設「IRCセンター」



社 屋

建設業界では、人材不足や高齢化が深刻な問題となっていますが、有難いことに、弊社ではベテラン社員から若手社員まで幅広い年代の社員が在籍しております。年代も考えも異なる社員同士での意思疎通は難しいものがありますが、各々が責任をもって業務を行い、品質向上の為に日々努めてくれています。

建設業という仕事は、人が生活していく上での安全で快適な環境をつくる重要な役割を担っており、壮さ、かつ精密で繊細さを併せ持つとても奥深くやりがいのある仕事だと感じております。次世代の建設業界を担う若い世代にとっても、魅力のある職種になることを期待しております。

おかげ様で、「株式会社堀田建設」を設立してから、令和2年3月に節目の50年を迎えます。長年にわたり、事業を続けてこられたことに大変感謝いたしております。

今後も、お客様の期待とニーズを的確に把握し、誠意を持って施工するという設立時からの理念は、代替えをしても変わらず持ち続けたいと思います。そして、皆様の生活基盤を築き、支えているという大切な役割を今後も担っていくためにも、半世紀にわたる弊社の実績と経験を財産として社員一丸となり、建設業の発展・地域社会のお役に立てる会社になればと考えております。

今回は株式会社石川建設 代表取締役 石川博彰さんにバトンをお渡ししますので、よろしくお願ひします。

(株式会社堀田建設 代表取締役 堀田建悟)

今月の「輝き！」さん
No. 57



橋建設株式会社 業種：工事部 経験年数：1年8ヶ月 年齢：20歳	網 美雨菜さん みうな
---	----------------

金沢市戸室新保町の現場事務所に今月の輝きさん
網 美雨菜さんを訪ねました。

- この現場はどのような工事をされているのですか？
この現場は、金沢市の次期廃棄物埋立場の管理棟建設工事の現場で、当社は建築工事を担当しています。私は、今年の3月から上司の工事部長のもとで現場監理を担当しています。

- あなたの会社について教えてください。
私が勤務する橋建設株式会社は、昭和46年創業の金沢市窪7丁目に本社を置く建築、土木工事の設計施工を行う会社です。社員数は14名で私は本社工事に所属しています。

- あなたの経歴と会社への入社動機について教えてください。
私は、金沢市で生まれ、地元の小、中学校を経て金沢市立工業高校建築科に入学しました。工業系の高校に進んだ理由は、父が内装の仕事をしていたので子供のころから建築という仕事を身近に感じており、将来は自分も建築関係の仕事に就こうと思っていたからです。今の会社には高校3年生のインターンシップでお世話になりましたが、皆さんとても親切でアットホームな雰囲気を感じました。そんなご縁もあって入社を決めました。

- 入社して1年8カ月余りになりますが今の気持ちは？
建築の仕事に就こうと決めていたものの、「男社会」でしかも「3K」と言われる職場であるという不安は多少ありました。しかし、実際に就業してそのようなことを感じたことは全くありません。基本的に女性だからできないという仕事はないと思っていますので、上司や先輩の指導も頂きながら少しでも早く一人前の現場監督になりたいと思っています。

- これまでに苦労した現場、思い出に残る現場はありますか？
まだ経験が浅く特に苦労したことはありません。建物が設計図面どおりに完成していくことに感動を覚えると同時に、職人さんの技術に感心する毎日です。自分自身が設計図面をしっかりと把握し、現場の関係者や職人さんとのコミュニケーションに気を配ることの大切さを肌で感じています。

- 建設業協会では、女性活躍社会の実現を目指して「女性技術者のつどい」などの女性が働きやすい環境づくりのための取り組みを行っていますがどう思いますか？
「女性技術者のつどい」には2回参加させていただきました。建設業で働く女性技術者はまだまだ少なく当社でも私一人です。同業の女性同士が現場での悩みや仕事上の疑問点などについて情報交換をする機会はとても大事だと思います。こうした催しには今後も積極的に参加したいと思っています。

- 休日の過ごし方、趣味について教えてください。
高校では、創部間もない女子サッカー部に所属し毎日グラウンドを駆け回っていました。就職してからは身体を動かす機会もありませんが、休日には、友人と街に出かけ買い物をしたり、好きなドライブを楽しんだりしてリフレッシュしています。

- 将来の夢、目標は？
とりあえずの目標は、2級建築施工管理技士の試験に合格することです。将来的に仕事上必要な資格をひとつでも多く取得して自分のスキルを高め、現場を任せてもらえるようになりたいと思っています。



けんせつ一番星

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

協会だより

委員会の開催

土木委員会

工事現地検討会の実施

土木委員会安全対策部会(部会長 林 登良夫)は、去る11月13日(水)に白山野々市地区、県央地区、中能登地区、11月20日(水)に南加賀地区、奥能登地区で、県土木部所管工事を対象とした工事現地検討会を実施した。この現地検討会は当委員会の主要活動の一つで、工事施工中の現場を点検し、工事現場での設計上の課題や疑問点などについて、工事発注者である土木事務所の担当官、工事設計を担当した設計コンサルタントの技術者、工事施工者、地区協会員、土木委員会委員が一堂に会して意見交換会を行い、より良い社会資本整備を目指すことを目的に実施を行っている。

今年度は、9月18日(水)開催の安全対策部会正副部会長会議、10月1日(火)開催の工事現地検討会班長会議で点検実施内容を計画し、関係機関との調整等により、県内5土木総合事務所管内で11件の工事を選定し、97名の参加により、各現場での工事点検、意見交換会を実施した。

工事現地検討会の実施にあたって、石川県各土木総合事務所、(一社)石川県建設コンサルタント協会、(一社)石川県測量設計業協会、



工事点検パトロール状況



意見交換会状況

令和元年

～交通マナーアップいしかわ～

年末の交通安全県民運動

期間 12月11日(水)～12月20日(金)

運動の重点

- ◆ 高齢者の交通事故防止(北陸三県統一重点)
- ◆ 夕暮れ時と夜間の交通事故防止
- ◆ 飲酒運転の根絶
- ◆ 冬道の安全走行の徹底
- ◆ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

石川県・石川県交通安全推進協議会

お問い合わせ/石川県生活環境部生活安全課(電話076-225-1387)

工事担当の各社、各地区建設業協会の皆さんには大変なご協力を頂いた。また、各地区での調整や運営を担って頂いた各班長さんに改めてお礼申し上げます。

金沢河川国道事務所と懇話会との意見交換会の開催

土木委員会懇話会（座長 野村幸平）は、去る11月22日（金）に金沢市内の会議所で「金沢河川国道事務所と懇話会との意見交換会」を開催した。この懇話会は土木委員会の50歳以下の若手委員から各種の意見聴取及び意見交換会等を行うために平成22年度から設置されたもので、今回の意見交換会では金沢河川国道事務所からは副所長と工事品質管理官の2名、土木委員会からは副委員長3名と懇話会委員9名、事務局1名が出席して行われた。



金沢河川国道事務所からは、最近の話題提供として、大角副所長から「社会資本整備を巡る最近の話題について」、谷口工事品質管理官からは「直轄工事の入札契約等に関する最近の話題について」等のご講話と情報提供を頂いた。その後、講話内容や直轄工事に関する課題等について、出席者から質疑や意見交換が交わされ散会した。

「石川県土木部との意見交換会」の開催

土木委員会（委員長 竹腰勇ノ介）は、11月29日（金）にANAホリデイ・イン金沢スカイにおいて、石川県土木部所管の建設事業について「石川県土木部との意見交換会」を開催した。意見交換会には、石川県より技監の鈴木 穰氏、土木部監理課技術管理室長の宮田政佳氏、同課参事の守田 裕氏、企画調整室専門員の亀崎信弘氏の4名の方々に出席を頂き、県協会からは鶴山副会長、土木委員会からは竹腰委員長をはじめとする41名の委員と事務局1名が出席した。



鈴木技監による講演

冒頭に竹腰委員長からの挨拶の後、石川県技監の鈴木 穰氏より「石川県土木部における最近の動向について」と題して、9月補正予算について、県民生活の安全・安心の確保、いしかわの個性の磨き上げと交流基盤を活用した交流の拡大、最近の話題（12月補正予算、平準化対策、堆積土砂の除去、金沢港整備、総合評価方式の運用基準、ICT施工、週休2日の取組み、担い手確保・育成、災害時の緊急対応強化など）についてご講演を頂いた。



意見交換会

意見交換会では、土木委員会より 入札・契約関係（5議題）、総合評価関係（1課題）、設計・積算関係（3課題）、施工関係（1課題）、監督・検査関係（1課題）、その他要望意見（2課題）の13題について、当土木委員会の副副会長及び懇話会座長から要望や提案事項の趣旨説明の後、県土木部からの回答を受け、その後に各委員と発注者の双方による活発な意見交換が行われ、閉会した。

建築委員会

北陸地方整備局営繕部との建築工事懇談会の開催

建築委員会（委員長 橋本和雄）は11月26日（火）ホテル日航金沢で北陸地方整備局営繕部（営繕部長 山田 稔）と建築工事懇談会を開催した。整備局側からは山田営繕部長ら6名、建築委員会からは橋本

委員長ら12名の参加で営繕工事における諸問題を意見交換した。

冒頭、山田営繕部長から、「担い手確保や生産性向上、品質の確保など様々な課題があるが地方公共団体と連携して適正に取り組んでまいりたい。本日は忌憚のない話を聞かせてほしい。」と挨拶があり、引き続き橋本委員長が「公共事業は前年を上回る規模であり、ありがたい環境にある。また、災害の続出で建設業は地域の安全・安心に必要なだとの機運も高まっている。一方民間工事が大半の建築工事において働き方改革を推進するためには発注者の理解と予算の確保が重要であり、行政の指導をお願いしたい。」と挨拶した。



最初に整備局側から 営繕工事における働き方改革の取組について、 営繕工事における積算関係の取組について、 営繕工事における情報共有システム(ASP)・電子小黒板の活用について情報提供があった。 県協会建築委員会からの、 調査基準価格の見直しについて、 現場作成資料の軽減について、 建設キャリアアップシステムの運用について、 労務単価の更なる引き上げについて、 熱中症対策について、 設計単価について、 働き方改革についてなどを現場の生の声を交えて要望した。これに対し、整備局側から丁寧な回答があった。

発注者側、受注者側の本音の部分をつづけた有意義な懇談会となり、今後も継続的に開催をすることを確認し、岡建築委員会副委員長の挨拶で懇談会を閉会した。

土地改良委員会

「県農林水産部との意見交換会」の開催

技術検討部会(部会長 小柳 誠)は、11月7日(木) 金沢ニューグランドホテルにおいて、県農林水産部から、北出一郎農林技術管理室長、石垣広男担当課長、上原良太専門員、橋本尚之農業基盤課担当課長の4名をお迎えし、令和元年度「県農林水産部との意見交換会」を開催した。技術検討部会から小柳部会長以下17名が出席した。



冒頭、小柳部会長の開会挨拶、北出室長の挨拶の後、県からの情報として、農業基盤課の橋本担当課長から「農業農村整備事業における主要事業の概要について」等の説明を頂いた。

引き続き、当技術検討部会から、区画整理工事を中心に設計積算6項目、入札・契約4項目、予算等1項目について意見・要望として提示した。

具体的には、区画整理工事に係る適正な歩掛入力や、施工の実態に合わせた重機による積算等に関する意見・要望の趣旨説明に対し県から回答を受ける形で活発な意見交換を行った。

家畜伝染病防疫訓練への参加

石川県主催((公社)石川県畜産協会共催)の家畜伝染病防疫訓練は、11月13日(水)午後1時30分から、地場産業振興センター本館1階大ホールを訓練会場に、畜産関係団体、畜産農家、北陸農政局、自衛隊、県、市町等の防疫従事者など約100名が参加し実施された。この訓練は、高病原性鳥インフルエンザ及び口蹄疫並びにCSF(豚コレラ)等の家畜伝染病が発生した際に、迅速かつ的確な防疫対応を行うための訓練で、当協会は、平成23年5月に県と「口蹄疫等の発生時における緊急



ダミーの豚による殺処分状況

対策に関する基本協定」を締結してゐる。

本年度の訓練は、豚コレラが発生した際に迅速かつ的確な防疫対応ができるよう、防疫措置の内容と訓練概要の説明があり、続いて発生農場における防疫措置について、防疫従事者18名による防疫準備（受付、健康調査、防護服着用など）から豚舎内での殺処分までの訓練が行われた。

当協会からは、区域に豚舎がある地区協会事務局長及び防疫対策実施時の協力企業から9名が参加し、集合から殺処分等の一連の作業について説明を受け、手順や留意点等の確認を行った。

現場研修会の開催

技術検討部会(部会長 小柳 誠)主催の現場研修会が、11月20日(水)、白山市白山町の国営かんがい排水事業「手取川流域」地区の工事現場において、北陸農政局手取川流域農業水利事業所、請負会社、手取川宮竹用土地改良区から3名の講師をお迎えし開催された。部会員等28名が参加した。



室内研修



白山頭首工工事現場

当日は、鳥越公民館会議室での室内研修に続いて現場研修を行った。室内研修では、事業所工事課長の茶志川孝治氏が「手取川流域地区の概要」を説明後、(株)安藤・間白山作業所長の川本喜憲氏が「白山頭首工建設工事における施工管理について」と題し、農業用用水(最大56m³/s)取水を確保しながらの工程短縮、洪水時の増水に耐えうる仮設の工夫、頭首工を流れ落ちる白滝の再現等について説明を頂いた。続いて、土地改良区課参事 川端 真氏から、白山頭首工から取水する改良区用水施設の全体概要と沈砂池、発電所の役割や運用状況について説明を頂いた。午後の現場研修では、白山頭首工工事現場で実際の施工状況を視察するとともに、改良区の沈砂池、発電所の施設を見学し運用状況等について説明を頂いた。

農政局及び県農林水産部等への施策提案

土地改良委員会(委員長 真柄卓司)の正副委員長は、11月21日(木)に森澤 透農林水産省北陸農政局長、及び26日(火)に遠藤知庸石川県農林水産部長へ「農業農村整備事業の推進に関する提案書」を手渡し受注機会の確保などを要望した。

真柄委員長の挨拶に続き、事務局より下記事項について要望・報告を行った。

【要望事項】

1. 受注機会の確保

当協会では、災害等の緊急対応や若手技術者の確保・育成の取組等を実施しており、その実績も考慮した更なる受注機会の確保。

2. 品確法運用指針の徹底

県内では、狭隘な地形及びほ場内条件などから施工の制約を受けることが多いので、適正な利益を確保できるよう「発注時の設計精度向上や条件明示」及び「現場の施工実態を反映した適切な発注価格と設計変更」の徹底及び適切な工程管理を行うための協議における速やかな報告・回答の徹底。

3. 農業農村整備事業予算の確保

予算の持続的かつ安定的確保。

【報告事項】

県における豚コレラ対策の協力
今年7月に知事を本部長とする「豚コレラ緊急対策警戒本部会議」が設置され、当協会では県との協定に基づき、県内15農場を対象に防疫対策実施体制を整えている。



北陸農政局長への提案



要望事項の説明、報告の後、項目ごとにコメントを頂き、特に森澤農政局長からは、「担い手不足の対策として、4週8休をはじめとした新3K（給与、休日、希望）の取り組み等働き方改革を推進していく」と力強いコメントを頂いた。その後、北陸農政局及び県農林水産部幹部の方々と意見交換を行った。



県農林水産部長への提案



河北潟周辺農地防災事業所への提案

なお、11月21日(木)に北陸土地改良調査管理事務所、手取川流域農業水利事業所、河北潟周辺農地防災事業所、29日(金)に石川農林総合事務所、県央農林総合事務所に対しても要望活動を実施し、各所における提案内容の取組み状況について意見交換を行った。

広報・研修委員会

企画部会の開催

広報・研修委員会の企画部会(部会長 高田直人)は、11月19日(火)午前10時30分から、石川県建設総合センター会議室において開催された。冒頭、高田部会長の開会の挨拶が行われた後、引き続き下記議題について審議・報告を行った。

- 1 協会報12月号及び令和2年新年号について
事務局説明の編集計画が承認された。
- 2 研修所からのお知らせ
登録解体工事講習会の開催結果について



建設青年委員会

講演会の開催

建設青年委員会(委員長 北川隆明)は、11月14日(木)午後3時30分から、金沢東急ホテルにおいて講演会を開催した。

講師に、株式会社GSUCCESS 代表取締役 北野雅史氏をお迎えし、「クラウド時代に生かせるジャパンスターダード ～建設業が働き方改革のお手本に～」の演題でご講演を頂いた。



講演では、来年本格導入が予定されている新たな通信環境5GやBCPの観点からのクラウド環境の必要性など、事例を交えながらお話頂いた。

当日は、金沢河川国道事務所、石川県、金沢市からもご参加を頂き、100名が聴講し盛況のうちに終了した。

雇用対策特別委員会

令和元年度「富士教育訓練センター派遣事業」打合せ会議の開催

雇用対策特別委員会（委員長 岡 昌弘）は、例年、県協会所属の会員企業等に就職が内定している県内の高校生を対象に、入社前の資格取得、安全管理、社会人としてのマナーの修得等を目的とした「富士教育訓練センター派遣事業」を実施している。

本年度の実施にあたり、11月19日（火）石川県建設総合センターにおいて、工業系高校3校（金沢市立工業高校、県立羽咋工業高校、県立翠星高校）から担当教諭4名の出席をいただき打合せ会議を開催した。

会議では、事務局より本年度の研修科目及び派遣期間、注意点等の説明を行った。本年度は、東日本建設業保証（株）の支援による「就職前準備研修」の受講後、従来の「玉掛け技能講習・小型移動式クレーン技能講習」、「車両系建設機械運転技能講習」に加え、新設した「ドローン講習」の3コースから選択して受講することとし、派遣期間は7泊8日とした。



石川県土木施工管理技士会だより

第2回役員会の開催

石川県土木施工管理技士会（会長 江口介一）は、令和元年度の第2回役員会を11月26日（火）にホテル日航金沢で開催した。

会議は、下記の議事内容について審議・確認・説明を行った。

< 審議事項 >

全国土木施工管理技士会連合会表彰推薦について

- ・表彰規程に基づき、表彰該当者の中から石川県土木施工管理技士会の推薦者の決定を行った。

「北陸地方整備局と三県技士会との意見交換会」の提案議題について

- ・令和2年2月下旬に開催の北陸地方整備局と北陸三県技士会との意見交換会の提案議題について、12月下旬迄に提出することを確認した。

令和元年度実施報告及び今後の予定について

- ・事業活動状況、今後の予定について内容を確認した。
- ・収入及び支出内容の確認を行い、適正であることを確認した。

情報提供等

- ・監理技術者兼務及び施工管理技士補の役割に関するアンケート調査内容と回収状況を確認した。
- ・令和元年台風19号及び前線による災害への支援金として、石川県土木施工管理技士会では全国土木施工管理技士会連合会を通して拠出することを確認した。



業界時報

労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（令和元年分）

令和元年10月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	7	(17)34	10	(17)51	(14)59	524
小松監督署	13	(5)9	3	(5)25	(6)23	164
七尾監督署	4	(6)11	4	(6)19	(5)18	95
穴水監督署	6	(1)2	1	(1)9	(7)11	49
計	30	(29)56	18	(29)104	(32)111	832
前年同期	23	(32)61	27	(32)111		964

()内は木建工事 内は死亡者数

令和元年度 建設工事受注高調（元請）

民間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%
8月分	606	429	141.3%	2,428	1,850	131.2%	3,034	2,279	133.1%
9月分	167	232	72.0%	3,140	3,316	94.7%	3,307	3,548	93.2%
10月分	160	403	39.7%	4,877	2,405	202.8%	5,037	2,808	179.4%
年度累計	2,068	2,219	93.2%	16,638	17,407	95.6%	18,706	19,626	95.3%
29年度累計		3,145	65.8%		20,735	80.2%		23,880	78.3%
28年度累計		3,174	65.2%		13,696	121.5%		16,870	110.9%

官公庁

	土 木			建 築			計		
	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%
8月分	4,761	3,699	128.7%	656	1,299	50.5%	5,417	4,998	108.4%
9月分	4,688	5,066	92.5%	564	2,871	19.6%	5,252	7,937	66.2%
10月分	3,722	5,034	73.9%	399	773	51.6%	4,121	5,807	71.0%
年度累計	29,948	26,119	114.7%	10,449	7,939	131.6%	40,397	34,058	118.6%
29年度累計		23,421	127.9%		8,424	124.0%		31,845	126.9%
28年度累計		31,731	94.4%		10,163	102.8%		41,894	96.4%

合 計（民間＋官公庁）

	令和元年度	平成30年度	%
8月分	8,451	7,277	116.1%
9月分	8,559	11,485	74.5%
10月分	9,158	8,615	106.3%

	令和元年度	平成30年度	%
年度累計	59,103	53,684	110.1%
29年度累計		55,725	106.1%
28年度累計		58,764	100.6%

会員消息

今月は届出はありませんでした。なお、変更等があった時点で届出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

令和元年12月行事予定

- 12月 2日(月) 南加賀農林 施策提案(南加賀農林総合事務所)
 3日(火) 日本銀行金沢支店長との意見交換
 正副会長会議
 4日(水) 全国建産連 専門工事業全国会議
 (東京 建設業振興基金)
 石川県景観審議会 (石川県庁 1106室)
 5日(木) 奥能登・中能登農林への施策提案
 (奥能登・中能登農林総合事務所)
 建設業振興基金 研修会(～6日)
 (東京 建設業振興基金)
 6日(金) 全国建設青年会議全国大会
 (東京 リーガロイヤルホテル東京)
 10日(火) 北陸建設青年会議役員会・局長との意見交換会
 (新潟県建設業協会)
 建防災 金沢大会成功プロジェクト委員会
 (ホテル金沢)
 11日(水) 金沢市立工業高校建築科 インターンシップ報告会
 (金沢市立工業高校)
 12日(木) 全国技士会連合会 事務局長及び実務担当者会議
 (東京 アルカディア市ヶ谷)
 建築委員会 金沢地区安全パトロール
 (金沢港・クルーズターミナル)
 土木委員会 工事現地検討会班長会議(後期)
 (金沢市内)
 13日(金) 羽咋工業高校生との意見交換会(羽咋工業高校)
 金沢市立工業高校土木科 インターンシップ報告会
 (金沢市立工業高校)
 16日(月) 金沢大学における産学官連携による講義
 (金沢大学)
 17日(火) 小松工業高校 意見交換会 (小松工業高校)
 18日(水) 「けんせつフェア北陸」実行委員会及び幹事会
 (新潟国道事務所)
 20日(金) 青年海外協力隊を支援する会 要望
 (石川県、金沢市等)
 23日(月) 協会・組合 理事会(金沢ニューグランドホテル)
 知事懇談会 (金沢ニューグランドホテル)
 25日(水) 事務局打合せ
 27日(金) 仕事納め

令和2年1月以降の行事予定

- 1月 6日(月) 経済団体新年互礼会 (ホテル日航金沢)
 14日(火) 建築設計等関連7団体合同新年互礼会
 (ホテル日航金沢)
 17日(金) 全国建産連 協議委員会 (東京 霞が関ビル)

- 21日(火) 広報・研修委員会 (ホテル日航金沢)
 協会・組合同新年会 (ホテル日航金沢)
 23日(木) 事務担当者説明会
 事務担当者説明会 (白山野々市建設業協会)
 24日(金) 事務担当者説明会 (加賀建設業協会)
 事務担当者説明会 (小松能美建設業協会)
 土木委員会 新年会 (和倉温泉)
 27日(月) 建防災石川支部安全祈願祭・新年会
 (尾山神社・KKRホテル金沢)
 事務担当者説明会 (河北郡市土建協同組合)
 28日(火) 事務担当者説明会 (珠洲建設業協会)
 事務担当者説明会 (鳳輪建設業協会)
 29日(水) 事務担当者説明会 (七尾鹿島建設業協会)
 事務担当者説明会 (羽咋郡市建設業協会)
 2月 3日(月) 正副会長会議
 常任理事会
 7日(金) 北陸地方整備局との意見交換会
 (ホテル日航金沢)
 17日(月) ICT活用講習会(経営者クラス)
 25日(火) 建設業税財務講習会
 北陸建設業協会 事務局会議 (福井)
 27日(木) 北陸地方整備局と北陸3県土木施工管理技士会
 との意見交換(新潟 アートホテル新潟駅前)
 3月 3日(火) 正副会長会議
 6日(金) 全国建産連 総務委員会 (東京)
 11日(水) 全国建産連 専門工事業委員会 (東京)
 13日(金) 廃棄物講習会
 4月 3日(金) 正副会長会議
 常任理事会
 27日(月) 正副会長会議
 5月11日(月) 理事会(建防災10:30・組合11:30・協会12:15)
 26日(火) 総会(建防災11:00・組合13:00・協会14:00)
 10月26日(月) 北陸建設業協会地域懇談会(ホテル日航金沢)

「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- 随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
 投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
 協会報の発行 毎月1日発行
 (毎月10日前後納入、会員送付)
 謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、
 (一社)石川県建設業協会事務局広報担当
 TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 12月 3日(火) 青年：技術防災セクション
 6日(金) 建築：全体会
 7日(土) 青年：小立野消防署完成見学会
 10日(火) 青年：情報発信セクション
 BCP 抜打ち訓練
 協会・組合理事会及び年末懇親会
 11日(水) 青年：市工就業体験報告会(建築)
 13日(金) 青年：市工就業体験報告会(土木)
 青年：市工測量コンテスト表彰式
 青年：市工意見交換会土木科
 18日(水) 建築：建築工事現場安全パトロール
 建築：年末懇親会
 25日(水) 土木：役員会

《お知らせ》

- 1月10日(金) 青年：デザインアワード表彰式
 28日(火) 協会・組合 合同新年会

(一社)加賀建設業協会

《行事予定》

- 12月11日(水) 建災防加賀分会
 「働き方改革に係る講習会」開催
 20日(金) 役員会

《お知らせ》

- 1月16日(木) 新年会
 2月19日(水) 監理技術者講習 開催

(一社)小松能美建設業協会

《行事予定》

- 12月 3日(火) 理事会
 4日(水) 小松能美農林安全対策協議会パトロール
 5日(木) 建築委員会ゴルフ&懇談会
 17日(火) 小松工業高校2年生へのガイダンス
 19日(木) キャリア教育(板津中学校)

《お知らせ》

- 1月10日(金) 新年会

(一社)白山野々市建設業協会

《行事予定》

- 12月 5日(木) 監理技術者講習
 11日(水) 役員会
 18日(水) 石川土木総合事務所若手と勉強会

《お知らせ》

- 1月15日(水) 新年互礼会

河北都市土建協同組合

《行事予定》

- 12月17日(火) 河北都市の県議会議員との懇談会
 27日(金) 仕事納め

(一社)羽咋郡市建設業協会

《行事予定》

- 12月13日(金) 羽咋工業高校生との意見交換会

《お知らせ》

- 1月24日(金) 協会・資材組合合同新年会
 2月20日(木) 監理技術者講習会

(一社)七尾鹿島建設業協会

《行事予定》

- 12月 4日(水) 監理技術者講習会
 6日(金) 土木委員会・講演会
 10日(火) 建築委員会定例会

《お知らせ》

- 1月17日(金) 新年会

(一社)鳳輪建設業協会

《お知らせ》

- 1月17日(金) 新年会
 28日(火) 事務担当者説明会

(一社)珠洲建設業協会

《行事予定》

- 12月 4日(水) 理事会
 12日(木) 雇用対策部会
 13日(金) 建設現場安全パトロール

《お知らせ》

- 1月17日(金) 新年会